

分野	水産業分野
----	-------

戦略の柱	1 漁業生産の構造改革
取組方針	1 効率的な沿岸漁業生産体制への転換

◆具体的な取組み	概要	指標	出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31)	取組み内容				
				H28	H29	H30	H31	H32以降
◆高知マリンイノベーションの推進による操業の効率化(H31新規)	漁業者の高齢化や担い手不足に歯止めをかけるため、漁業のIoT等を推進することで操業の効率化や経営の安定化を図る	①土佐黒潮牧場の高機能化に必要な機器等の選定 ②漁場予測システムや出漁判断情報等の開発件数 ③急潮及び赤潮発生予測手法の開発 ④産地市場のスマート化に資する機器等の導入件数	① -(H30) ↓ 機器2種選定(H31) ② -(H30) ↓ 2件(H31) ③ 2件(H30) ↓ 2件(H31) ④-(H30) ↓ 3件(H31)	①県漁業振興課、県水産試験場、県漁業指導所：黒潮牧場への魚探ブイやソナー等の機器設置試験の実施と結果の検証、漁業者による評価結果等を参考に黒潮牧場への本格展開を推進 ②県水産試験場、県漁業振興課、県漁業指導所：海況データ等を活用したメジカ漁場予測システムの開発やキンメダイにおける出漁判断情報の提供に取り組む等、釣り漁業の操業の効率化を推進 ③県水産試験場、県漁業振興課、県漁業指導所：定置網漁業における急潮や養殖業における赤潮の発生予測手法の開発に取り組むことで、漁業者の経営の安定化を推進 ④県水産政策課、県漁業指導所：産地市場への自動計量システムの導入を進める等、スマート化を推進	魚探ブイの設置 200m潮流データの検証 中央部における赤潮発生予測手法を確立 芸東における急潮予測 自動計量システムの導入	漁業者による評価結果等を参考に本格設置 レーダー、ソナーの設置 キンメダイ漁における出漁判断情報の提供 メジカ漁場予測システムの開発、提供 西部における赤潮発生予測手法の開発、確立 土佐湾における急潮予測手法の開発、精度向上 自動計量システムの他市場への展開、アシストスーツの実証試験、電子入札や入港予測システムの検討	評価結果等を参考に本格設置 出漁判断情報の精度向上 より精度の高い漁場予測の実施	

分野	水産分野
----	------

戦略の柱	1 漁業生産の構造改革
取組方針	3 新規漁場の開拓

◆具体的な取組み	概要	指標	出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31)	取組み内容				
				H28	H29	H30	H31	H32以降
◆企業誘致の促進や新たな漁法の導入による生産量の増大(H31新規)	○定置網への企業誘致に向けた未利用漁場に関する情報の発信 ○活餌供給用イワシの安定的な確保に向けた土佐湾への火光利用まき網の導入	①未利用漁場への企業参入 ②火光利用まき網の試験操業実施回数	①-(H30) ↓ 4漁場に参入(H31) ②-(H30) ↓ 5回	<p>定置漁場調査 → 企業誘致のための営業活動等の実施</p> <p>活餌供給に向けた火光利用まき網の導入</p>				

分野	水産業分野
----	-------

戦略の柱	2 担い手の育成・確保
取組方針	1 担い手の育成

◆具体的な取組み	概要	指標	出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31)	取組み内容				
				H28	H29	H30	H31	H32以降
◆高知県漁業就業支援センターの設置による担い手対策の抜本強化(H31新規)	相談窓口や支援制度の全体像が分かりにくい、就業後のフォローアップが十分でないといった課題に対応するため、就業希望者を総合的に支援する新たな体制を整備し、一元的な支援体制の整備に合わせて支援対策を抜本強化する。	新規就業者数	29名(H26) ↓ 44名(H29) ↓ 50名	<p style="text-align: center;">相談窓口の一元化 → 就業後のフォローアップまでを一貫して支援</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>漁業就業支援センター： 漁業就業希望者に対するワンストップ相談窓口の設置</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 60%;"> <p>漁業就業支援センター：就業相談、就業希望者の掘り起こし、新規研修事業の創設と支援、漁船アドバイザーによる研修終了生の漁船取得支援 市町村：漁業就業支援センターへの参画、研修事業への財政支援 漁協：漁業就業支援センターへの参画、営漁指導員による研修終了生への経営的な助言 県漁業振興課：漁業就業支援センターへの参画と財政支援</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">取得漁船の活用 →</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%; margin-left: auto;"> <p>漁業就業支援センター： 漁船の取得と研修での活用、研修終了生へのレンタル</p> </div>				

分野	水産業分野
----	-------

戦略の柱	2 担い手の育成・確保
取組方針	1 担い手の育成

◆具体的な取組み	概要	指標	出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31)	取組み内容				
				H28	H29	H30	H31	H32以降
◆新規就業者の経営の安定化に向けた営漁指導員の配置、育成(H31新規)	<p>漁業者に対して経営指導を行う漁協職員(営漁指導員)を県内6ブロックに配置し、漁業者の経営安定を図る。</p> <p>漁協と県は、営漁指導アドバイザーの設置、研修会の開催、先進地視察などを通じて営漁指導員を育成する。</p>	営漁指導員の配置人数	-(H26) ↓ -(H30) ↓ 6名	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 80%;"> <p>漁協: 営漁指導員を各ブロックに1名配置 営漁指導員: 定期的に新規就業者をはじめとする漁業者のもとを訪問し、経営指導を実施</p> </div> <div style="text-align: right; width: 15%;"> <p>営漁指導員による経営指導</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: 80%;"> <p>漁協: 研修会や先進地視察を開催し、営漁指導員の育成を図る 県水産政策課: 営漁指導アドバイザーを委嘱するとともに、営漁指導員育成のための研修会や先進地視察の開催を支援 営漁指導アドバイザー: 営漁指導員から取組状況を把握し、助言・指導 営漁指導員: 営漁指導アドバイザーと定期的に情報共有して助言を受けるとともに、研修会の受講や先進地視察への参加によりスキルアップ</p> </div> <div style="text-align: right; width: 15%;"> <p>営漁指導員の育成</p> </div> </div>				

分野	水産分野
----	------

戦略の柱	5 活力ある漁村づくり
取組方針	2 交流人口の拡大

◆具体的な取組み	概要	指標	出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31)	取組み内容					
				H28	H29	H30	H31	H32以降	
◆遊漁や体験漁業の振興(遊漁船業等の振興)(H31拡充)	遊漁等の振興を図るため、豊かな海洋資源等を生かした遊漁船業や体験漁業等の取組みを支援し、またその旅行商品化を推進する。	遊漁や体験漁業の旅行商品化・磨き上げをした数	- (H27) ↓ 5件(H30) ↓ 5件(H31) ↓ 計10件	実態の把握 県漁業振興課、 県漁業指導所： 遊漁等の実態 の把握	遊漁船業や体験漁業等の振興 県漁業振興課、県漁業指導所：実態やニーズに基づく振興策の検討、遊漁船業者の組織化、整備への支援(支援制度の拡充、基盤整備等)、アドバイザーの設置、新たな観光資源の発掘	県水産政策課、県漁業指導所：実態調査等に基づく振興策の検討、整備への支援(支援制度の拡充、基盤整備等)、アドバイザーによる助言、遊漁船業等を紹介するホームページの作成、新たな観光資源の発掘	旅行商品の開発や磨き上げ等を支援 県水産政策課、県漁業指導所：遊漁船業等の旅行商品化と旅行エージェントへの売り込み、インバウンド対応や新規就業等を支援		